

令和6年度上半期 スケジュール

多度神社本殿保存修理工事現場見学会を開催します

現在行われている市有形文化財「多度神社本殿」の屋根葺替の見学や檜皮葺体験を行います。

- 講師 麓 和善氏(国立大学法人名古屋工業大学 名誉教授)
 濱田晋一氏(国立大学法人名古屋工業大学大学院 准教授)
 友井辰哉氏(株式会社友井社寺 代表取締役)
 洲上大輔氏(株式会社友井社寺 屋根技師)
 友井康介氏(株式会社友井社寺 屋根技師)

- 場所 多度神社(平和町1-123)
 期日 令和6年4月14日(日) 9:30~11:30
 対象 小学5年生以上(小中学生は保護者同伴)
 定員 30人 参加費 無料
 申込 4月1日(月)9:00~ 電話またはEメールで ※先着順
 ※仮設足場になります。歩きやすい靴、服装でお越しください。



多度神社修理の様子

文化財保護センター企画展「かわいい! たじみのぶんかざい」

期間 令和6年7月22日(月)~12月20日(金)

多治見市にある指定・登録文化財の数は現在103。それらを全て紹介する『多治見の文化財』改訂第10版の発行にあわせて、多治見の文化財を紹介する企画展を開催します。

文化財に数居の高さを感じている方々にも、気軽な気分で展示品を楽しんでいただきたいと思います。会期中にはワークショップも開催予定です。



普賢寺「円空仏」

多治見市文化財保護センター

〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘 10-6-26

利用案内 開館時間: 9:00 ~ 17:00 (最終入館 16:30)

休館日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

入館料 無料

TEL (0572) 25-8633 FAX (0572) 24-5033

E-mail hogo-cen@city.tajimi.lg.jp

ホームページ <http://www.city.tajimi.lg.jp/bunkazai/>

アクセス

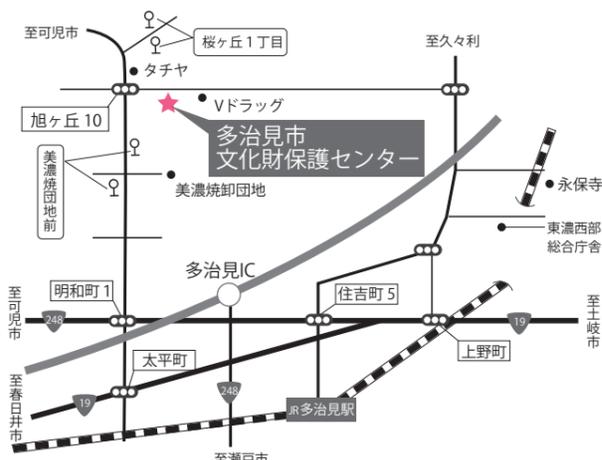
●自動車

多治見 IC より車で約 10 分

●電車・バス

JR 多治見駅北口より東鉄バス・桜ヶ丘ハイツ線または緑ヶ丘線に乗車

「桜ヶ丘1丁目」または「美濃焼団地前」下車・徒歩5分



自然と人の文化

No.63 2024年3月発行

編集・発行 多治見市文化財保護センター

発行部数: 1,300部 (税込 55,770円)
 この冊子は環境に配慮した紙・インクを使用しています。

Instagram



X



ホームページ



アカウントは @tajimi_bunkazai

自然と人の文化

多治見市文化財保護センターだより No.63 2024.3

永保寺五峰庵保存修理事業



ごほうあん かやぶき

令和5年度に市名勝「永保寺境内」にある五峰庵の茅葺屋根の葺替と内部の修理を行いました。屋根は周囲の木によって日が遮られる上、その葉が屋根に落ちるため屋根全体に傷みが進んでいました。なかでも北側の屋根は一部は傷みがひどく崩落していました。

葺替作業では、まず屋根に葺かれていた茅を撤去し、再利用できるものとできないものとに分けます。その後傷んだ骨組みを取り替え、茅を軒先から上に向かって葺いていきます。茅は根元部分を下向きにして葺くことで、穂先を下向きにするよりも長持ちします。ある程度茅を積んだら、雁木(がんぎ)という道具で叩いて屋根面を整えていきます。この作業を繰り返した後、最後に刈り込みを行い、茅葺屋根は完成します。

令和6年11月23日(土・祝)に「清流の国ぎふ」文化祭2024の事業として、「永保寺五峰庵公開と茶会」を実施します。修理され美しくなった五峰庵の茅葺屋根をぜひ見に来てください。



シンポジウム しりてんもく
 「小名田窯下窯の白天目をめぐって」
 2月17日(土) in 産業文化センター

講師に徳川美術館参与・佐藤豊三氏、元愛知県陶磁資料館館長補佐・井上喜久男氏、京都国立博物館調査国際連携室長・降矢哲男氏、市無形文化財「白天目」保持者・青山双溪氏を迎え、小名田窯下窯出土の白天目をめぐって、尾張徳川家所蔵「白天目」についてや、茶陶の中での「白天目」について、また、考古学からみた「白天目」とその製造方法等について議論を深めました。

天目は千利休の時代になると茶会ではほとんど使用されなくなり、尾張徳川家では特別な茶道具として珍重されていく歴史がありました。また、伝世の白天目は現在7碗が確認されており、それぞれの特徴について解説いただきました。多くの方にご来場いただきました。ご協力いただきました各位に心より感謝申し上げます。

小名田窯下窯 おなだかましたよう
 2024. 1/29(月)～6/21(金)

特別開館 3/9(土)・6/2(日) 多治見市文化財保護センター

多治見市文化財保護センター
 〒507-0971 岐阜県多治見市中央4-26
 TEL:0572(2)-6626 FAX:0572(2)-0933
 E-mail: hogo-ken@city.tajimi.lg.jp
 https://www.city.tajimi.lg.jp/hokokusha/

おなだかましたよう
 企画展「小名田窯下窯」開催中
 1月29日(月)～6月21日(金)

平成6年度の発掘調査で、多治見市小名田町地内に16世紀の大窯3基、江戸時代の連房式登窯2基が発見されました。その後、未調査の大窯1基を含む6基と作業場が多治見市史跡に指定されました。

中でも小名田窯下1号窯は、安土桃山期以前に作られた窯で、美濃の初期の大窯として知られています。さらには茶人・武野紹鷗所持の白天目茶碗との関係が指摘される灰釉天目茶碗が出土した窯として注目されています。

今展覧会では小名田窯下窯出土遺物とともに、岐阜県・愛知県内の遺跡で出土した「白天目」を紹介し、市無形文化財「白天目」保持者青山双溪氏のこれまでの「白天目」作りを紹介し、美濃で作られた「白天目」の生産方法に迫りまる企画展です。

学校展示

養正小学校の校舎内に、民具資料等の展示室をオープンしました。学校の授業と連携しながら、先生や児童のみなさんに、有効に展示室を使っていただけるよう、タブレット端末で利用できるワークシートも新しく用意しました。

養正小学校の校区内には「オリベストリート」と呼ばれる、かつて多くの陶器商たちが行き交った通りがあります。この土地で暮らしていた商人たちの歴史を知ることができるよう、陶器商が使用していた見本カバン等も展示しました。昔の暮らしの中で使われていた民具や、やきもの等、実物を手に取りながら重さやスケール感、道具のカタチに込められた工夫や想いをたくさん学んでほしいと思います。



養正小学校の展示室の様子

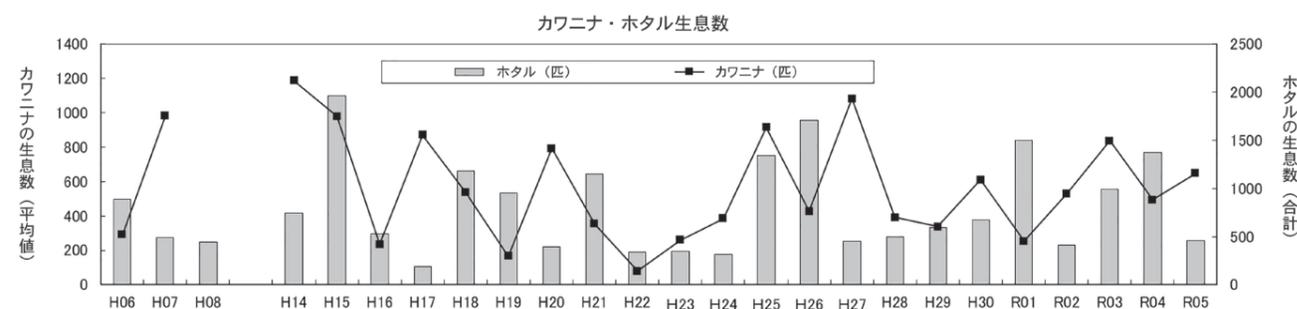


カワニナ調査・カワニナ移動

市天然記念物「北小木のホタル」の調査の一環として、ホタルの幼虫のえさであるカワニナ(巻貝の一種)の調査を、毎年秋に北小木川と神明洞川で行っています。今年度の調査は10/22(日)に実施しました。

今年度はカワニナの数を多く確認できました。カワニナが多く確認できた翌年のホタル数は多くなる可能性が高いです。しかし、ホタルは3～4年の周期で大発生しており、最近の大発生は令和4年であることから、次の大発生は令和7年か8年と考えられます。カワニナの数とホタルの発生周期を合わせて考えると、今年は去年よりもホタル数は増えますが、大発生までには至らないのではないかと予想されます。

また、神明洞川の川底にたまった土砂の撤去工事をするため、道路河川課、土岐川観察館、工業者とともに工事前にカワニナと水生生物の移動を行いました。捕獲したカワニナは918匹で、工事の影響を受けない川の上流に移動させました。このように年間を通じて様々な「北小木のホタル」保護活動を行い、天然記念物を守っています。



カワニナ生息数調査 大きさの計測



カワニナ生息数調査